

石山南遺跡 現地調査レポート & 僕の古墳生活

沢野中央小学校 5年2組
岩澤 洸太



はじめに

今年の6月、伊勢崎市に新たに見つかった石山南遺跡に行きました。

目的は、現地説明会に参加するためです。

ぼくが古墳に向き合う上で「新たな発見」を大事にしています。そのためにぼくは現地に行きます。今回は、石山南遺跡に加え、こどもセミナーで行った、一ノ宮3・4号墳についてまとめてみようと思います。

石山南遺跡について

ここはどんな場所なのか

伊勢崎市下触町にある旧石器時代と古墳時代の遺跡です。以前から多くの古墳が知られ、たくさんの埴輪が出土していました。また、この周辺の古墳を、石山南古墳群と呼びます。

石山南古墳群で出土した貴重な埴輪

出土場所：赤堀村104号墳

正式名：鍬をかつぐ男

展示施設：東京国立博物館



顔にうっすら赤い顔料があった。ベンガラではないか。

HANI-本
ベストスマイル賞！
おめでとう！

これが鍬

出土場所：赤堀村107号墳

正式名：見返りの鹿

感想

見慣れない、めずらしい埴輪だと思いました。馬形埴輪に比べて、かさがありません。でも、首を横に向けている可愛らしい埴輪だと思いました。



調査した結果

調査では、赤堀村107号墳から埴輪が出土しました。
 と同時に、埴輪・土師器を作っていた遺跡が確認されました。



先ほどのような見返りの鹿が出土した
 赤堀村107号墳の陸橋部
 を望む

6世紀初頭に作られた円墳です。



祝



新発見



関東地方では多数の埴輪が出土しています。しかし、その製作遺跡については非常に少なく、県内では西の藤岡・東の太田の2例が知られていました。今回の調査で、県中央部では初めての発見となりました！
土師器の生産遺跡は、古墳時代の例としては県内初であり、埴輪と同所・同時期に作られたと思われる点では、全国的にも極めて貴重な発見です。

土師器…はじき。

古墳時代から平安時代にかけて作られた土器の総称。



現地調査に行った感想

県内でも貴重な発見で、そのことを知った時は、とてもおどろきました。ぼくの大好きな埴輪を作っていた場所で、きょうみ深く見学できました。また一つ、東国文化のすごさが分かりました。これからの新たな発見にきたいして、そしていつか、自分の手で、大きな発見をしたりです。



埴輪の工場的な場所です。そのすぐ横が窯となっていて、埴輪を焼いていたと思われる。

6世紀初頭には、埴輪を作るのは、1つの職業だったのかな？

こどもセミナーに参加して

7月27日、歴博主催のこどもセミナーに参加しました。一ノ宮3・4号墳を見学しました。どちらの古墳も保存状態が良く、整備も施されていました。また、両古墳の近くにある富岡合同庁舎で、実際の土器をさわる体験をさせてもらいました。

一ノ宮3号墳(堂山稲荷古墳)

全長: 48m

形状: 前方後円墳

この古墳のことを、別名「堂山稲荷古墳」とも呼ぶと右島先生から教えてもらいました。別名のある古墳はあまり知らなかったので、おどろきました。この古墳には、はりめぐらされたほりがあり、それも古墳の一部ということも聞き、墳丘だけが古墳ではないのだと分かりました。6世紀中頃に作られました。

一ノ宮4号墳

全長:48m

形状:前方後円墳

富岡合同庁舎内にある古墳です。富岡合同庁舎は、この古墳に沿うように作られていると右島先生がおっしゃいました。それを聞き、この古墳はとても大切に守られてきたのだなど感動しました。また、この古墳には横穴式石室があり、「近くを流れている鍬川の岸で、石材がたくさんとれるから、立派な石室が作れる。」と教わりました。これから古墳に行く時は、周りの地形も調べたいです。加えて、この古墳の近くを流れる鍬川を東へ進むと藤田の伊勢塚古墳の近くへと進みました。伊勢塚古墳のもよう積み石室の石もこの鍬川の石ではないかと思いました。

下の写真は、土器触り作験をさせてもらっている様子です。発掘情報館を訪れた時は、手袋をつけてなら土器を触ったことがありますが、素手で触るのは初めてで、表面はさらさらしていました。その場で知り合った古墳好きの友達と、これは何の埴輪の一部かな？これとこれはつながるのかな？などと話しながら触りました。ほくにとて、かけがえのない時間でした。

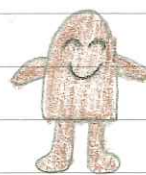
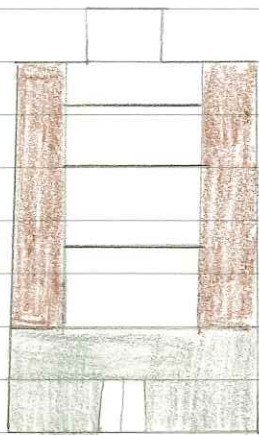


はにパーティーに行きました



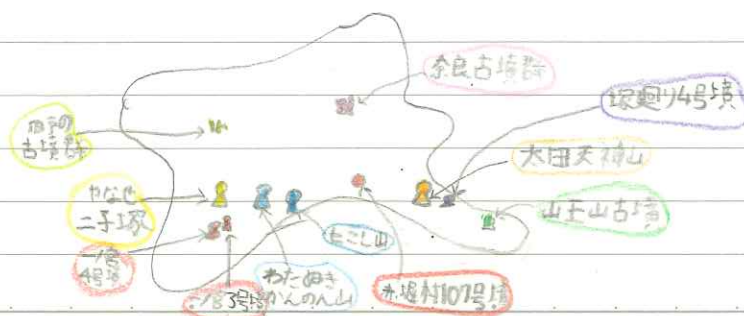
8月17日、群馬県庁で開催された
はにパーティーに行きました。
「ハニハニ群馬の歌とダンスを覚
えてきました。いつか大ヒットして、
群馬の埴輪の素晴らしさを世界中
の人に知ってもらいたいと願います。
古墳ファス・埴輪ファスもたくさん
売っていました。
またこのような楽しいイベントがあれば
参加したいです。

やっぱり群馬の 埴輪がNo.1!



ぼくの考えた古墳・埴輪イベント

ぼくは古墳と同じくらい県庁が大好きです。特に、26階にある群馬県の形のジオラマは
お気に入りの場所です。群馬県の地理は、ほぼそこで身に付けました。そこで、ぼくは、
古墳の位置もそこで分かるようにすれ
ば良いのではないかと思います。



まとめ

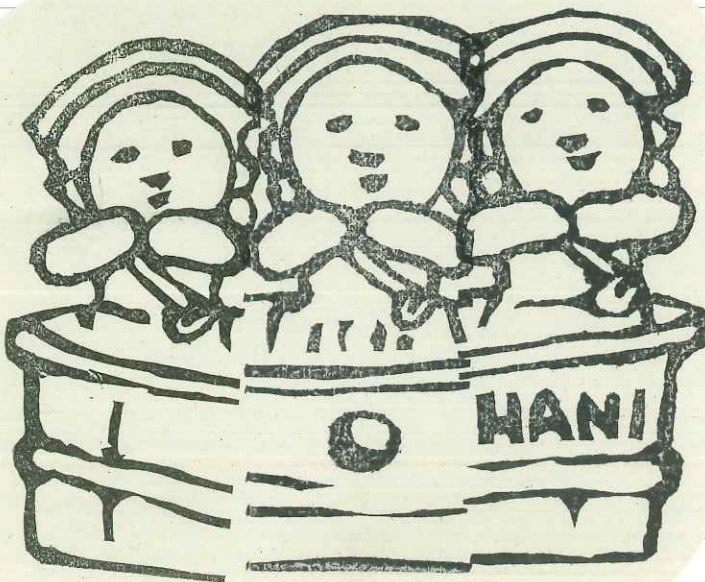
ぼくが現地に行く理由、それは「新たな発見」を大事にしているからです。現地に着いたら、説明板を読み、歩測し、周りの景色を見て、今から1500年という遠い昔を想像する。その時間が、ぼくはたまらなく楽しいです。インターネットの中では感じることでしかない空気感があると思います。古墳に登ったり、ながめたり、触ったりすることを、ぼくは大事にしています。これからも、現地に行き、歴史をはたき、体感していきたいです。

出典・引用

- ・石山南遺跡・石山南古墳群 見学会資料
- ・HANI-本
- ・こどもセミナーに参加
- ・古墳マップ「堂山稲荷古墳」「ノ宮4号墳」のページ
- ・父と母の協力

石山南遺跡現地見学会を企画・運営してくださった皆様
こどもセミナーを毎年企画・開催してくださった講師の方、スタッフの皆様
はにパーティーを盛り上げてくださった関係者の皆様

ありがとうございました



読んでいただき
ありがとうございました!

岩澤 光太